

## 原料価格・単位料金調整額のお知らせ

《 2026年7月検針分に適用 》

当社は、「原料費調整制度」に基づき、2026年7月検針分に適用するガス料金の単位料金を算定しました。

今回につきましては、2026年6月検針分に対し、1.19円/m<sup>3</sup>の増額となります。

(基準単位料金に対し、5.75円/m<sup>3</sup>の増額となります。)

### ● 2026年2月から2026年4月までの原料価格

1トンあたりLNG平均価格 87,440円 (参考-基準となるLNG平均価格 81,080円)

1トンあたりプロパン平均価格 98,230円 (参考-基準となるプロパン平均価格 92,210円)

※ 2026年2月から2026年4月までの貿易統計実績によります。

### ● 2026年7月検針分適用単位料金の調整指標となる平均原料価格

#### ◆ 平均原料価格の算定

87,440円 (トンあたりLNG平均価格) × 0.9166

+ 98,230円 (トンあたりプロパン平均価格) × 0.0903

= 89,020円 (10円未満四捨五入)

#### ◆ 平均原料価格

1トンあたり 89,020円 【基準平均原料価格： 82,640円】

### ● 原料価格変動額

89,020円 - 82,640円 = 6,300円 (100円未満切り捨て)

### ● 2026年7月検針分の基準単位料金に対する調整額

$0.083 \times ( 6,300 \text{円} \div 100 ) \times ( 1 + \text{消費税率} ) = \frac{5.75 \text{円/m}^3}{\text{(小数第3位以下切り捨て)}}$

### ● 2026年6月検針分の調整額に対する差額

(7月検針分調整額) 5.75円/m<sup>3</sup> - (6月検針分調整額) 4.56円/m<sup>3</sup>  
= 1.19円/m<sup>3</sup>